

若い世代のために、
もうひと働きしませんか

介護に興味は無いですか？
やがては自分もお世話になるのです

人の役に立って、自分のためにもなる
介護の職場をぜひご体験ください

社会経験や能力を発揮

若い職員の支えになる

介護を学び自らの予防も

介護の未来に知恵を出す

仲間と出会い共助の輪を作る

共に考え、共に創る、
介護の未来



一般社団法人 日本元気シニア総研 認定

職場環境 向上支援員

ESサポート

<介護事業編>

認定：一般社団法人日本元気シニア総研

企画・運営：介護事業ES向上研究所
(事務局：株式会社スリービーンズ)
<http://eslabo.net>

認定講座のお問い合わせは・・・

日本元気シニア総研

<http://genkisenior.com/>

認定講座の主な内容

ESなくしてCSなし	
ES(職員満足)とは働きやすさと働きがい 職場環境整備のポイント	2時間
介護と介護事業の基本	
介護保険制度の基本 介護事業の魅力や役割 変容する介護業界	2時間
介護職の視点を知る	
介護のチームケア 対人援助職に求められる資質 介護サービスのPDCAと書類作成・管理	2時間
居心地の良い空間づくり	
コミュニケーションスキル 介護における接遇 メンターとしての役割	2時間

全8時間の受講で
ESサポーターの認定資格を付与、
登録者に資格者証を発行する。

登録料:5,000円(税込、受講料は別途)

メルマガによる情報提供
勉強会、情報交換会の開催



ESサポーターに期待される役割

介護人材の需要見込み(2025年度)	253.0万人
現状推移シナリオによる 介護人材の供給見込み(2025年度)	215.2万人
需給ギャップ	37.7万人

(平成27年 厚労省発表 2025年に向けた介護人材にかかる需給推計)

良質な人材の確保が難しい	53.9%
人材確保・定着に十分な賃金が払えない	49.8%
経営が苦しく労働環境改善ができない	29.1%

(公益財団法人介護労働安定センター 平成27年度介護労働実態調査より)

職場の人間関係で悩み	25.4%
法人の理念・運営方針に不満	49.8%
もっと良い仕事が見つかった	18.8%

(公益財団法人介護労働安定センター 平成27年度介護労働実態調査より)

労働力として

2025年介護人材不足は
37.7万人!
共助の輪を広げ、
全員参加型を目指す。

知恵袋として

事業所運営は課題山積!
ESサポーターの
知恵と経験が求められる。

メンターとして

心の支えになる。
人間力ある存在が必要。
次世代につなぐ
良い職場、良い仕事。

資格認定の目的

職場環境向上支援員は、一般社団法人日本元気シニア総研が提唱するシニア人材の活用推進を資格化したものです。

資格にすることで、**位置付けが明確になり、働く側と雇用側の意識を共通化**することができます。

働く側には自覚を、雇用側には正しい人材活用を促して、ミスマッチを防ぎます。

シニア人材を単なる労働力としてだけではなく、高い経験値や実務能力など、**シニアならではの人間力を有効活用**することが狙いです。

働く側のやる気と雇用側の期待を

マッチング



ESとは

ESとは、Employee Satisfaction の略です。従業員満足と訳されます。CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) と対比して使われる用語です。職員が生き生きと笑顔で働く職場は、利用者にとっても居心地の良い空間になります。対人援助職の介護事業は、人材の質は、介護サービスの質に直結します。

一般社団法人日本元気シニア総研

日本元気シニア総研は、GTI (G:元気で、T:楽しく、I:生きがいをもって) で1人でも多くの元気シニアを増やすことを目的に2013年に設立しました。高齢者の三大不安「健康・経済・孤独」を一挙解決するのは仕事を持つことです。社会の中で活躍するシニアを応援し、活躍の機会を創出することが総研の役目です。

一般社団法人日本元気シニア総研
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
Tel:050-5533-3100 Fax:03-5791-5859
Email:info@genkisenior.com

<http://genkisenior.com/>